

会議記録

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会議名	平成30年度 第3回高松市自殺対策推進会議
開催日時	平成30年11月5日(月) 13時00分～14時30分
開催場所	高松市防災合同庁舎(危機管理センター) 3階301会議室
議題	(1)「高松市自殺対策計画」原案について (2)スケジュールについて (3)その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	鈴江会長・田中(克)副会長・三野委員・佐藤委員・廣瀬(美)委員・田中委員(代理:松岡氏)・島津委員・伊勢島委員・藤本委員・荻田委員・廣瀬委員・岡崎委員・久保(幸)委員・藤川委員・上枝委員・森本委員・香西委員・久保(朗)委員(代理:山下氏)、濱崎委員(代理:目黒氏)、山下委員
傍聴者	0人(定員3人)
担当課及び連絡先	高松市保健センター 839-2363

会議の経過及び結果

次の通り、会議を開催した。

1 開会

2 議題の協議

(1)「高松市自殺対策計画」原案について

事務局から説明を行い、委員よりご意見をいただいた。

(2)スケジュールについて

事務局から説明を行い、委員よりご意見をいただいた。

(3)その他

事務局から策定までの作業及び次年度の開催予定について説明し、引き続き協力を依頼した。

3 閉会

会議の経過及び結果

【質疑応答・意見】

議題（１）について

委員) 計画の第４章の部分について、修正依頼をしたが修正できていない箇所がある。

事務局) 確認不足である。再度修正確認する。

会長) 他の部分についても再度の見直しをお願いする。

委員) 第４章について、民間団体と行政が実施している事業についてはきちんと区別して記載する必要がある。

事務局) 第４章の記載方法については、原案のとおり考えている。

委員) P20 の支援のイメージ図に医療機関が入っていないのはなぜか。

事務局) P20 の医療機関の表現として「高松市医師会」としているが、十分でないと考えるので、表現を検討したい。

委員) 精神科病院と医療機関の一覧などを相談窓口の続きに入れることを今後検討してほしい。

事務局) 今後、検討していく。

委員) P14 の数値の出し方について、この箇所だけ下３桁となっている。

会長) 四捨五入の関係もあると思うが、この部分も下１桁が良いのではないか。一般的に１桁である。

事務局) １桁に修正します。

委員) どの機関につなぐかの判断基準について、６５歳以上なら包括支援センター、６５歳未満なら保健センターという判断で良いか。

事務局) P51 の相談窓口一覧をご覧いただき、ある程度要因が限定されるなら、この項目に沿ってつないでいただきたい。概ね６５歳を境に分かれるが、判断に迷う内容の場合は、一旦どちらかにつないでいただきたい。

委員) 相談窓口一覧のうち、P55 にある産業保健総合支援センターは労働者側の相談窓口ではなく、産業保健スタッフ側がメンタル関連の対応について相談する窓口である。

事務局) 掲載の形を修正する。

会長) 相談窓口一覧については、「〇〇年〇月〇日現在」と記載があるとよい。

事務局) 対応する。

委員) 公的機関は17時までのところが多く、夜中の相談対応ができる機関はないのか。

委員) いのちの電話は24時間体制ではあるが、相談員不足である。全国で6,200人の相談員がいるのでどこかにつながるようになっているが、実際には難しい。

会長) 24時間対応ができる相談窓口は、いのちの電話だけでなく、教育センターのメール相談もある。他にも試験的にやっているところがあるので、将来的にメール相談も普通にできるかもしれない。

委員) 公的機関としては、警察も24時間対応であるが、一般の方が警察に電話することはハードルが高いことである。もし今後行政が対応することがあれば、専門機関が対応してほしい。

事務局) 若者の自殺対策として、厚生労働省がSNS相談を委託でしている。高松市では高松介護相談専門ダイヤルなどが24時間対応であるが、今後も対応を検討していきたい。

議題(2)について

会長) パブリックコメントの実施方法と計画書の冊子配布先についてはどのような予定か？

事務局) ホームページ及び広報で市民に周知する。支所・出張所等には紙ベースの計画書・意見書を設置し、郵送・ファックス・Eメール等で受け付ける予定である。

冊子配布先については、作成後記者室や自殺対策推進会議委員等への配布を予定している。

議題(3)について

事務局) 今年度の会議については予定していた3回目となり、内容の了承をいただいた。次年度以降は、計画の進捗状況を点検・評価することとなっているので、毎年1回程度、会議開催予定である。議題としては、直近の状況や関係機関の取組等の情報共有等を考えている。